

地域連携 News

Japanese Red Cross Otsu Hospital



新年

あけまして
おめでとーございます



大津赤十字病院
院長 小川 修



平素より当院の運営にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で3年目の年越しとなり新型コロナウイルス感染患者への診療対策については一定レベルの基準に達していると考えておりましたが、昨年末の第8波では当院病棟運営にとりましても、これまでで最も大きな影響を受けることとなりました。当院の感染防止対策により、紹介患者さんの受入制限など地域の先生方には大変なご不便をおかけすることとなりました。難局をなんとか乗り越えることが出来ました事は、皆さまのご理解・ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

世の中では、社会・経済活動がウィズコロナへ向かう中、患者さんの健康と命を預かる立場にある我々医療機関では、これまで通り感染対策を徹底し地域住民への医療の提供を継続することが求められています。本年も地域の先生方と連携を図り地域医療における役割を継続して参る所存です。

本年、当院はさらなる医療機能の拡充を図るべく以下の取組みを実施いたします。

1.内科系外来診察エリアの拡張工事

令和5年3月頃の竣工を予定しており、外来診察待ち時間の短縮と紹介患者さんへの診療提供環境の充実を図ります。

2.患者支援センターの設置

総合相談機能と併せて入院前支援、逆紹介支援等を集約し、安心して効率的な医療提供により地域医療支援病院としての役割を推進して参ります。

3.MR検査装置を更新

紹介検査でご利用いただいている既存2台のうち1台のMR検査装置(1.5テスラ)を最新機種(3テスラ)への更新を行い、より精度の高い検査結果をご提供いたします。令和5年6月頃からの稼働を予定しておりますが、更新工事に約2か月を要します。入替工事期間中、若干のご迷惑等おかけすることがあるかと存じますがご理解賜りますようお願い申し上げます。

4.AI問診票システムの導入

患者さんが記入した紙ベースの問診票を電子カルテに入力するこれまでの運用から、当院で用意したタブレットや患者さんのスマートフォンを利用して入力するAI問診票システムに変更します。AI問診票の様式もそれぞれの臨床

症状に応じた必要項目が展開されるため、カルテ作成業務に要する時間短縮とスムーズな診療が可能となります。併せて、お薬手帳や紹介状を文字認識させてデジタル化することにも対応します。

5.電子カルテシステム等へのセキュリティ対策

オンライン診療の解禁やマイナンバーカードを用いた保険情報等のオンライン資格確認機能、本年1月より開始されます電子処方箋機能への対応等医療業界におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進が国策により図られています。

その一方で情報ネットワークを経由したランサムウェア(身代金要求型ウイルス)等のコンピュータウイルス感染により病院機能が停止する事例が報道され社会的な問題となっております。当院では当該事象を想定し、診療データのバックアップシステムを早期に稼働させており、更には、サイバーセキュリティの防御手段として最新対策システムを導入いたします。診療に不可欠な医療情報を守り、診療提供体制の維持に努めて参ります。



これらのビジョンを掲げ、当院の理念に基づき、全職員が「心やさしいプロの医療人」になることを目指し、皆さまとともに地域医療を担って参ります。

本年もご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまのご健勝と益々のご盛栄を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



日本赤十字社 大津赤十字病院 地域医療連携課

〒520-8511 滋賀県大津市長等一丁目1番35号

TEL.077-522-8535(直通) FAX.077-522-4385(直通)

予約受付 月曜日から金曜日(平日) 午前8時30分から午後8時00分まで
土曜日 午前9時00分から午後1時00分まで

QRコードからホームページが
ご覧いただけます
<https://www.otsu.jrc.or.jp/>

